（別添7）

事業所名グループホーム　ゲンジョウ

作成日：　平成26年5月12日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事業所と消防団との協力体制が築けていない。	消防団にホームを見学してもらい、ホームの設備、利用者さんの状態、認知症を理解してもらえるように取り組みを行っていく。年に一回は消防訓練を見学してもらう。	地域の消防団の担当の方と日程を調整し、ホームに見学に来てもらう。今年度中には見学ができるようにする。見学時に、設備や認知症を理解してもらえるように資料を用い説明を行う。	6ヶ月
2	45	男性職員の割合の方が多く、入浴など異性介助となることもある。	継続的に虐待や身体拘束について学ぶ。出来る限り、同姓介助になるように職員同士協力して行く。	三ヶ月に一度は、会議でマニュアルや事例を通して確認し学んでいく。研修に参加し、参加した職員は会議で全職員に対し勉強会を行う。勤務上では異性介助になっても、できる限り同姓介助出来るようにする。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。